令和８年度　　水口東高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・基礎学力の向上と積極的・自発的学習態度の育成をはかることで生徒の進路希望の実現につなげる。
・生徒一人ひとりにとって、満足度の高い学校（居場所）を実現できる教職員集団をつくる。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	教職員の業務や学校行事、様々な活動の効率・効果や妥当性の検証ができている。	B		
	保護者・生徒、教職員がともに安心感や達成感、充実感を得られるような取組を行っている。	A		
	保護者・生徒、地域社会などからの意見や指摘を魅力ある学校づくりに生かせている。	B		
2　学習指導	授業時間を最大限確保し、到達目標を生徒と共有した計画的な授業を実践している。	A		
	基礎学力の向上と、積極的・自発的学習態度の育成を行っている。	A		
	探究的な活動や特色ある取組などで生徒の視野を広げている。	A		
	主体的・対話的で深い学びの手法を研究・実践している。	A		
3　生徒指導	教職員の共通理解と、生徒の自覚の上に立った生徒指導が実践できている。	B		
	いじめの防止、早期発見・早期対応ができている。	A		
4　進路指導	生徒が希望や適性に応じた進路選択・決定ができるように、的確な進路情報の提供を行っている。	A		
	生徒の希望・能力・適性に応じた進路指導となるよう具体的な指導、助言ができている。	A		
	進路実現に向けて、生徒との面談を重視し、生徒の意欲を高めている。	A		
5　特別活動等	学園祭などの生徒会活動や修学旅行などの学校行事を通して良き集団づくりができている。	A		
	様々な体験や取組みを通して、豊かな人間性や社会性を身につけた生徒の育成をはかっている。	B		
6　学校図書館	図書館が生徒にとって親しみやすい場となっている。	A		
	生徒の読書活動を啓発している。	A		
7　保健・安全指導	生徒自身の健康に対する自己管理能力を向上させ、心身ともに健康な生徒が育っている。	A		
	交通指導に努め、生徒の交通マナーの向上を図るなど安全指導をおこない安全確保に努めている。	B		
	職員間だけでなく、カウンセラーや保護者とも連携した生徒の支援体制が確立できている。	A		
8　人権教育	部落差別問題学習をはじめとした人権学習を行っている。	A		
	学校生活の様々な場面において、生徒の自己肯定感の育成を目指した指導を行っている。	A		
9　環境教育	整理整頓や掃除を行き届かせ、校内美化を推進している。	B		
	日常の活動を通して、省エネなどの環境意識を高めている。	B		
10　事務・管理	施設・設備の定期的な点検を行い、安全管理を行っている。	B		
	生徒の個人情報などの校内の情報を適切に管理している。	A		
11　特別支援教育	生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた合理的配慮の提供に努めている。	A		
	特別な教育的支援を必要としている生徒の指導方針の確認や情報連携が、校内だけでなく外部機関や保護者ともできている。	A		
12　その他 学校の取組	家庭・地域社会と連携し、開かれた学校づくりができている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.e-minakuchi-j.shiga-ec.ed.jp/
https://www.e-minakuchi-h.shiga-ec.ed.jp/